

音響監督・ビジュアルアート制作科

(昼間部・2年制)

シラバス

全設置授業科目数	55	うち実務教員授業科目総数	37
全設置授業時間数	1934	うち実務教員授業時間数	1006
法令で定める基準授業時数シラバス提出分の授業科目数			5
法令で定める基準授業時数シラバス提出分の授業時数			176

1 年次 音響監督・ビジュアルアート制作科 【1 S V】

系列	授 業 科 目	授業時数		単位	担 当	実務教員による授業		シラバス添付の授業		備 考
		前期	後期							
共通科目	基礎知識習得トレーニング	30	4	2	芹 沢 ほ か					講義
	ビジネス基礎講座	8	8	1	芹 沢 ほ か					講義
	音 響 用 語	28		1	楠 元 ほ か	○	28			講義
	音 響 概 論	16		1	原 田	○	16			講義
	電気電子の基礎	16		1	末 永	○	16			講義
	電気音声信号		16	1	照 井	○	16			講義
	音 響 機 器 I	22		1	照 井	○	22			講義
	音 楽 史	32		2	松 山	○	32			講義
	舞台機構講座	8	16	1	見 上・吉 井	○	24			講義
	映像音響検定講座		16	1	永 谷	○	16	☆	16	講義
	効果音制作		20	1	石丸・吉井・金子(●)	○	20			講義
	動画音声制作概論	8	8	1	染谷・山田	○	16			講義
	演習企画立案/シナリオ	8	8	1	見 上	○	16			演習
	パッケージメディア研究	15	15	2	見 上・塩 田	○	30			講義
	英 語	20		1	コールマン					講義
	演習音響工作	24		1	下 久 保	○	24			演習
	演習機器オペレーションⅠ	32	8	2	芹 沢 ほ か					演習
	演習機器オペレーションⅡ	12	12	1	波多腰・溝淵					演習
	実習音響実技	36		1	波 多 腰	○	36			実習
	O n g e i 実技判定	10	10	1	近 藤					演習
専門科目	演習クリエイティブソフトウェア実技Ⅰ	28	32	4	楠元・波多腰	○	60	☆	60	演習
	照明概論	16		1	赤 本	○	16			講義
	聴能形成	8	8	1	見 上	○	16			講義
	演習映像音響の基礎		20	1	高橋(喜)・芹沢	○	20			演習
	音 響 機 器 Ⅱ		16	1	楠 元	○	16			講義
	スタジオ実技判定		16	1	芹 沢 ほ か					演習
	演習ムービープロダクション	8	84	5	日原・高橋(喜)・芹沢	○	92			演習
	演習ダビングミックス		32	2	波 多 腰	○	32			演習
	演習アニメーション音響制作		24	1	石 塚・芹 沢	○	24	☆	24	演習
	演習レコーディング技法		20	1	波 多 腰	○	20			演習
	映像音響演出		16	1	吉 井	○	16			講義
総合・その他	アニメーション研究		16	1	桑 原	○	16			講義
	ライブ配信インターンシップ		16	1	各 担 当	○	16			実習
	研修オリエンテーション	4			各 担 当					講義
	演習音芸オリエンテーションⅠ	30		2	各 担 当					演習
	企業研究	2	2		進路指導部					講義
	ワークガイダンス	2	4		各 担 当					講義
	企業インターンシップ	8	8	1	各 担 当					実習
	ガイダンス	12	8		芹 沢					講義
	合 計	443	463	48			656		100	

2年次 音響監督・ビジュアルアート制作科 【2SV】

系列	授 業 科 目	授業時数		単位	担 当	実務教員による授業		シラバス添付の授業		備 考
		前期	後期							
共通科目	エンタテインメントコンテンツ制作各論	16		1	巻島・磨知 田中・加島	○	16			講義
	演習 クリエイティブソフトウェア実技Ⅱ	28		1	永谷・波多腰 高橋(喜)	○	28			演習
	映 像 制 作 概 論	16		1	港	○	16	☆	16	講義
	映 像 音 響 検 定 講 座 Ⅱ	16		1	永 谷	○	16			講義
専門科目	立 体 音 響 入 門	26		1	中原・染谷	○	26			講義
	実 習 ダビングオペレーション	50	10	2	高 橋 (喜)	○	60			実習
	実 習 映 像 音 響 制 作	60		2	水野・高橋(喜)	○	60	☆	60	実習
	演 習 M A	32		2	内 村	○	32			演習
	演 習 プロモーション動画制作	48		3	高 橋 (喜)	○	48			演習
	演 習 イ ベ ン ト 実 技	28		1	近 藤	○	28			演習
	演 習 音 楽 レ コ ー デ ィ ン グ	20		1	楠 元	○	20			演習
	演 習 機 器 オ ペ レ ー シ ョ ン Ⅲ	24		1	高橋(喜)ほか					演習
総合・その他	演 習 音 芸 オ リ エ ン テ ー シ ョ ン	30		2	各 担 当					演習
	ビ ジ ネ ス 実 務	16		1	高 橋 (喜)					講義
	卒 業 制 作	32	560	25	高 橋 (喜)					実習
	ガ イ ダ ン ス	8	8		高 橋 (喜)					講義
	合 計	450	578	45		/	350	/	76	

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	共通科目	
授業科目	基礎知識習得トレーニング				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	34	単位	2
担当教員	芹沢恵里奈ほか		担当教員 実務経験	—			
授業概要	履修科目のうち特に専門性の高い分野や学問的知識の必要となる内容の各種基礎知識について学ぶ。						
到達目標	これから学ぶ履修科目の内容の中で必要となる専門知識の基礎を築く。						
授業計画 学習内容	・ 数学（中学・高等学校基礎数学の復習） ・ 電気（中学・高等学校基礎数学の復習） ・ 物理（音響分野関連の基礎物理知識） ・ PC関係（基礎システム、用語等） ・ 音楽（読譜、楽典等） ・ 一般教養						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	共通科目	
授業科目	ビジネス基礎講座				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	芹沢恵里奈ほか		担当教員 実務経験	—			
授業概要	社会人として他人とのコミュニケーションを円滑に行える能力を鍛える。						
到達目標	実社会や就職活動において役立つビジネスマナー、文章読解力、及び文章作成力を身につける。						
授業計画 学習内容	・会話における正しい表現や意味、敬語・謙譲語等の学習。 ・テーマに即した意見文やレポート、メールを書けるようになる。 ・就職活動時自己PRの作成方法。 ・メールや電話での言葉使いなど、ビジネスマナー。						
成績評価 方法	100点を満点とし、課題の提出および出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	共通科目	
授業科目	音響用語				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	28	単位	1
担当教員	楠元剛史ほか		担当教員 実務経験	2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務。			
授業概要	レコーディングスタジオで使われている技術用語を中心に、音響業務従事者の使う用語について、原理を含めて易しく解説を行う。						
到達目標	専門用語を知る。同じ用語に違う意味があることを知る。厳密な記憶ではなく概要をアバウトにとらえる。						
授業計画 学習内容	・ マイクロホンと収音技術に関する用語 ・ ミキシングルームで日常使っている技術用語 ・ マルチチャンネル録音に関する用語 ・ サウンドエフェクタの基本原理と機能に関する用語 ・ デジタル技術に関連する基礎知識と用語						
成績評価 方法	100点を満点とし、課題提出および出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	共通科目	
授業科目	電気電子の基礎				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	末永信一		担当教員 実務経験	SONY(株)にてリサーチャー、エンジニアとして長年勤務。現在は（一社）日本オーディオ協会専務理事			
授業概要	本校実習授業でも扱う音響映像機器の動作に必要な不可欠な「電気」とは何かを知る。						
到達目標	電気電子の基礎知識を習得すると共に、問題意識を持って動作の想像力を養う。						
授業計画 学習内容	・オームの法則 ・直流、交流について ・絶縁体、誘導体、半導体について ・アナログとデジタル ・映像、音声について						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	共通科目	
授業科目	電気音声信号				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	照井和彦		担当教員 実務経験	SONY(株)にてオーディオ商品の設計、広報、技術渉外等を行う。2015年よりオーディオ協会事務局長歴任。			
授業概要	電気、回路、機器についての学術的知識を深める。						
到達目標	電気、回路、機器についてより高度な内容を学び、各専門科目に応用できる知識を習得する。						
授業計画 学習内容	・ オームの法則 ・ アース/接地 ・ 補助記号 ・ 平衡と不平衡 ・ インピーダンス ・ 電気部品、パーツ ・ 音響回路 ・ ダイナミックレンジとSN（シグナル・ノイズ比） ・ 各種レベルメーター						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	共通科目	
授業科目	音響機器Ⅰ				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	22	単位	1
担当教員	照井和彦		担当教員 実務経験	SONY(株)にてオーディオ商品の設計、広報、技術渉外等を行う。2015年よりオーディオ協会事務局長歴任。			
授業概要	音響業務で使用する機材について学ぶ。						
到達目標	音響機材の仕組みや構造を業務レベルで理解できるようになる。						
授業計画 学習内容	・スピーカーシステム ・ミキシングコンソール ・マイクロホン ・パワーアンプ それぞれの音響機器の仕組み・構造・設計・ブロックダイアグラムの見方等						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	共通科目	
授業科目	音楽史				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	32	単位	2
担当教員	松山文哉		担当教員 実務経験	プロミュージシャン(ピアノ、キーボード)。バックミュージシャンとして多くのプロアーティスト作品に参加。			
授業概要	音楽の歴史と変遷を知り、知識を広げる。						
到達目標	様々な音楽を実際に聞き、その変遷を追うことで、音楽についての知識を広げる。						
授業計画 学習内容	・ アフロアメリカンミュージックとクラシック音楽の流れ ・ ブルース ・ ジャズ ・ クラシック音楽 ・ カントリーミュージック ・ R&B ・ ロック、ソウル、ファンク ・ ボサノヴァ ・ 日本の古典音楽						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	共通科目	
授業科目	舞台機構講座				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	24	単位	1
担当教員	見上陽一郎 吉井真		担当教員 実務経験	映画スタジオに数年従事した後、舞台音響家歴30年以上。(吉井)、舞台機構調整技能1級技能士(見上)			
授業概要	劇場、ホールの技術スタッフに必要な知識を身につけるとともに、舞台技能調整技能士3級筆記試験の模擬試験に取り組む。						
到達目標	舞台機構調整技能検定3級筆記試験の合格						
授業計画 学習内容	●音響、照明、舞台装置などの舞台機構解説 ●舞台機構調整技能検定3級筆記試験の過去問題集、1～3級レベルの模擬問題集への解答と解説						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	共通科目	
授業科目	映像音響検定講座				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	永谷喜美雄		担当教員 実務経験	(株)東京サウンド・プロダクションにて長年映像技術者として勤務。現在フリーのビデオエディター。			
授業概要	JPPA映像音響処理技術者資格認定試験、試験対策。						
到達目標	JPPA映像音響処理技術者資格認定試験合格を目標とする。						
授業計画 学習内容	・ テレビ放送の歴史/映像制作の流れ ・ テレビモニターの画像表示の仕組み ・ 色とはなにか？～光と色の関係～ ・ カメラについて ・ 映像信号について ・ 映像端子の種類 ・ 映像編集とは？ ・ 映像の効果/合成の種類 ・ タイムコード						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	共通科目	
授業科目	効果音制作				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	20	単位	1
担当教員	石丸耕一 吉井真 金子智充		担当教員 実務経験	担当教員の実務経験は授業計画学習内容欄に記載			
授業概要	効果音の役割・使い方・作り方						
到達目標	制作実習・卒業制作で台本を読み解き、効果音を制作できるようになる						
授業計画 学習内容	●効果音の役割と使い方と作り方の説明。台本の読み解き方・演出をシュミレートする。 担当：吉井 実務経験：映画スタジオに数年従事した後、舞台音響家歴30年以上。 ●効果音の作成方法について。レクチャー後は学生が実際に効果音を作成し、録音したコンテンツを試聴してみる。 担当：石丸 実務経験：舞台音響家として歌舞伎座、新橋演舞場などで伝統芸能や商業演劇の音響に従事。東京芸術劇場統括。 ●ゲームの効果音について。サウンドデザインの企画や演出、ゲームサウンドの制作行程について実務経験をもとにレクチャーする。 担当：金子 実務経験：ゲームコンテンツ制作会社でサウンドデザイナーとして勤務。						
成績評価 方法	100点を満点とし、演習評価・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	共通科目	
授業科目	パッケージメディア研究				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	30	単位	2
担当教員	見上陽一郎 塩田修		担当教員 実務経験	制作会社にて万国博上映動画の企画制作（見上）、レコーディングエンジニアとしてSony Music勤務後フリーランスで活躍（塩田）			
授業概要	音楽ソフト、動画ソフトの制作手法を学び、作品の鑑賞、分析を行う						
到達目標	音楽ソフト、動画ソフトの制作手法を知り、鑑賞力を高める。						
授業計画 学習内容	1.音楽ソフトの制作工程 2.音楽ソフトの鑑賞と制作手法の分析 3.動画の単位 4.ショットの決定要素と名称及び心理的効果 5.モンタージュの基礎 6.動画作品における音の演出法 7.ドキュメンタリー作品をめぐる考察						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	共通科目	
授業科目	英語				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	20	単位	1
担当教員	ブレット コールマン		担当教員 実務経験	—			
授業概要	簡単な英会話、英語の聞き取りを反復的に演習						
到達目標	英語に対する苦手意識を軽減し、制作現場で英語でコミュニケーションを取る勇氣と自信を醸成する						
授業計画 学習内容	●英語での自己紹介 ●簡単な会話の聞き取りと意味、文法解説 ●英語楽曲のディクテーション 担当講師紹介： 米国シアトル出身、来日後 3 5 年にわたり俳優英語教師として活動						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記および実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科			系列	共通科目		
授業科目	演習 音響工作			授業方法	演習		
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	24	単位	1
担当教員	下久保将人		担当教員 実務経験	音響・映像に関わる多くの設備工事に10年以上携わる。			
授業概要	音響・映像設備で使われている、ケーブルやコネクタの知識を身に着ける。						
到達目標	X L R コネクタ・T R S コネクタの正しいピンアサインを知り、テスターでチェックが出来るようになる。 可能であれば端末も出来るようになる。						
授業計画 学習内容	・一回目： 設備におけるケーブル・コネクタについて。 ・二回目： テスターの使い方。電池について。機材のマウント方法。 ヘッドホンの解体・組み立て。 ・三・四回目： ユニバーサル基板のハンダ付。ケーブルへのコネクタ付。 コネクタ外し。 ・五回目：テスト 内容は。X L R 3 P i n オス－X L R 3 P i n メス 一本 作成と テスターでの自己チェックをして提出。 評価はその授業時間内にて。 番外編：簡易スピーカーを作ってみる。						
成績評価 方法	100点を満点とし、実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	共通科目	
授業科目	演習 機器オペレーションⅠ				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	40	単位	2
担当教員	芹沢恵里奈ほか		担当教員 実務経験	—			
授業概要	各実習に先立ち、基本的な音響機材の名称や使用法を学ぶ。（前半） 遠隔講義、座学、各演習で習得した技術を実践する。（後半）						
到達目標	基本的な技術の習得と実践を通し、学生の自主性、コミュニケーション能力を鍛える。						
授業計画 学習内容	（前半） ・ ケーブル、コネクタ、端子等の名称 ・ ケーブル巻き ・ 音響卓の使い方 ・ マイクスタンドの扱い方 ・ 回線チェックのやり方 ・ エフェクターの使い方 （後半） ・ 学内実習施設での演習						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	共通科目	
授業科目	演習 機器オペレーションⅡ				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	24	単位	1
担当教員	波多腰英靖 溝淵友香莉		担当教員 実務経験	—			
授業概要	学内実習教室の使用法説明						
到達目標	学生が主体となり安全な学内実習施設の使用を目論む						
授業計画 学習内容	・LiveQ教室（演劇・ミュージカルの音響および照明技術等実習教室）説明 ・本館801教室（音楽イベントの音響および照明技術等実習教室）説明 ・本館9Fスタジオ（音楽レコーディング等実習スタジオ）説明 ・メディアセンター地下スタジオ（映像音響等実習スタジオ）説明						
成績評価 方法	授業への積極的な参加・出席状況にて評価し単位を付与						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	共通科目	
授業科目	実習 音響実技				授業方法	実習	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	36	単位	1
担当教員	波多腰英靖		担当教員 実務経験	2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級舞台機構調整技能士。			
授業概要	音を聞く、收音する、記録する、編集する といった基礎的な音響作業の習熟						
到達目標	音のモニタリング能力を開拓 フィールドワーク機器を用いた録音作業の習得 ノンリニア編集による作品作成過程の習得						
授業計画 学習内容	各作業におけるモニタリング ・音のモニタリングについて サウンドドラマ素材のためのロケ実習 ロケを通じた收音、録音作業習得 ・マイクロホン使用法 ・レコーダー使用法 ・ロケ実習 ProToolsを用いた音源制作作業 ・音源制作実習						
成績評価 方法	100点を満点とし、作品提出課題と授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	共通科目	
授業科目	Ongei実技判定				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	20	単位	1
担当教員	芹沢恵里奈		担当教員 実務経験	—			
授業概要	基礎的音響作業の習熟を図る。各項目の作業習得のため反復練習を行う。						
到達目標	音響作業に共通する初歩的動作の習得 3級舞台機構調整技能士実技試験への準備						
授業計画 学習内容	ケーブル巻き(8の字)習得 マイクスタンドの実務的活用を習熟 各種チェック作業の習得						
成績評価 方法	実技判定試験により100点満点で採点						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	共通科目	
授業科目	演習 クリエイティブソフトウェア実技Ⅰ				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	60	単位	4
担当教員	楠元剛史 波多腰英靖		担当教員 実務経験	担当教員の实務経験は授業計画欄に記載			
授業概要	コンピューターを道具とする考え方、その際の留意点等の習得を図る						
到達目標	コンピューター環境でのデータ管理習熟 ProToolsを用いた録音、編集、ミックス作業の習得						
授業計画 学習内容	Apple製デスクトップコンピューターでのデータ管理方法演習 ProToolsを用いて演習課題へ取り組む ・ProToolsData構築 ・ProToolsでの録音作業 ・ProToolsでの編集作業 ・ProToolsを用いての課題提出 担当教員の实務経験： ・2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務。（楠元） ・年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級舞台機構調整技能士。（波多腰）						
成績評価 方法	100点を満点とし、課題提出や授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	専門科目	
授業科目	演習 映像音響の基礎				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	20	単位	1
担当教員	高橋喜郎 芹沢恵里奈		担当教員 実務経験	—			
授業概要	映像から音を想起させ、想起された音を作成する。						
到達目標	映像に見合った音という観点の理解 想起した音の作成体験						
授業計画 学習内容	・ 効果音を考える。 映像に映る事象音 映像に映らないものが発する音のみの演出効果 (情景音、自然音、効果音など) ・ 映像に音をつける。 タイミング 聞こえの大きさのバランス ・ 編集ソフトの使い方。 収音した素材の取込み ProTools操作方法						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	専門科目	
授業科目	音響機器Ⅱ				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	楠元剛史		担当教員 実務経験	2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務。			
授業概要	基本的な音響機器の構造や動作原理を理解する。						
到達目標	構造を理解し、実際の使用時にイメージを持てるようになる。						
授業計画 学習内容	・ミキシングコンソールの機能と信号の流れ ・エフェクター類の種類と仕組み・使用方法 ・アナログテープレコーダーの構造と動作原理						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	専門科目	
授業科目	演習 ムービープロダクション				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	92	単位	5
担当教員	日原進太郎 高橋喜朗 芹沢恵里奈		担当教員 実務経験	映画作家として多数の作品を制作するほか、CMやプロモーション映像を多数手がける。(日原)			
授業概要	コンテストに応募する作品を制作する。						
到達目標	映像作品を制作し提出する流れを体験する。						
授業計画 学習内容	・シナリオ基礎、企画書の書き方。 ・プリプロダクションについて ・本読み、衣装合わせ ・撮影 ・編集、MA ・完パケ提出 ・合評						
成績評価 方法	100点を満点とし、作品出来栄え、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科			系列	専門科目		
授業科目	演習 ダビングミックス			授業方法	演習		
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	32	単位	2
担当教員	波多腰英靖		担当教員 実務経験	2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級舞台機構調整技能士			
授業概要	「生もの」としての音を認識し 「生ものとしての音」を扱うことに慣れる						
到達目標	サンプラーを用いてリアルタイムでの音響作業を体験する						
授業計画 学習内容	課題台本からの作品理解演習 サンプラー操作の習熟 ・SP404オペレーション ・abletonLive運用 サンプラー素材作成実習 ・ProToolsを用いた素材作成 発表形式でのダビングミックス						
成績評価 方法	100点を満点とし、作品発表と授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	専門科目	
授業科目	演習　レコーディング技法				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	20	単位	1
担当教員	波多腰英靖		担当教員 実務経験	2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級舞台機構調整技能士			
授業概要	物理現象を電気信号に変換することについての理解を深め、マイクへの理解を深める 声の録音(收音) 楽器の録音(收音)						
到達目標	学生が主体となつてのマイク選定、マイクセッティングを目標とする						
授業計画 学習内容	マイクロホンの特徴理解のための実験 ・型番、構造的特徴、指向性 録音スタジオでの模擬ラジオ番組制作 ・音声収録実習 ・リアルタイムプログラムの録音 ピアノ録音 ・楽器収録演習						
成績評価 方法	100点を満点とし、課題提出と授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	専門科目	
授業科目	アニメーション研究				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	桑原康臣		担当教員 実務経験	長年に渡りアニメ・ゲーム等映像コンテンツの企画制作を手掛ける。(有)シフト・アールを経て独立			
授業概要	ビジネスとしてのエンタテインメントについて考察し、収支・効率を理解する。演劇と映像の共通点・相違点を把握する。絵コンテについて学び、短編を企画・立案し、絵コンテを作成する。						
到達目標	アニメーションの業界と細部の技術に精通し、実際の作品を企画・立案し絵コンテを作成出来るようにする。						
授業計画 学習内容	1)桑原の職務履歴 + ビジネスとしての「エンタメ」の説明桑原の就活の話を例にして学生の就活についてのアドバイスなど。ビジネスとしての「エンタメ」を説明することで業界の「収支」や「効率」、今後の改善点など。 2)舞台演劇から学ぶステージ表現の上下(かみしも)の関係と映像コンテンツへの影響舞台の上下(かみしも)と表現内容の関係性の解説と、アニメ映像での実例など。 3)画(え)コンテの見方と描き方実際の画コンテを使ってその完成映像との比較。アニメ、テレビCM、実写CMでの使われる画コンテの違いとその理由など。 4)様々なアニメ表現の解説一般的なセルアニメやCGアニメ、人形アニメや砂や粘土など様々な素材を使ったアニメ表現の実例を、映像を見ながら解説。 5)ゲーム内でのアニメ表現について ゲーム業界の成り立ちの「きっかけ」とソーシャルゲームへの発達従来のゲームビジネスとはまったく異なる展開を要求されるソーシャルゲームの解説など。						
成績評価 方法	レポート課題として15秒尺テレビCMコンテ作成を提出。100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	総合・その他	
授業科目	研修 オリエンテーション				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	4	単位	－
担当教員	各担当		担当教員 実務経験	－			
授業概要	学内教員による講話とオリエンターリングによる新入生交流						
到達目標	専門学校で学ぶにあたっての心構え醸成と、新入生の交流促進						
授業計画 学習内容	1. 学内教員による講話 2. クラス／班に分かれて、学校周辺のオリエンターリング 3. レポート作成						
成績評価 方法	－						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	総合・その他	
授業科目	演習 音芸オリエンテーションⅠ				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	30	単位	2
担当教員	各担当		担当教員 実務経験	—			
授業概要	1・2年生合同の班編成で各コンテンツをローテーションで受講する。(コンテンツ内容及び担当教員は授業計画学習内容参照)						
到達目標	・学年、学科の枠をこえて学内で学生同士がつながりを持てるようにする ・先輩、後輩間に「教え・教えられ」の関係が生まれるきっかけの場の提供 ・多様なコンテンツを通じて音響技術、技能習得へのモチベーションを高める						
授業計画 学習内容	見上…『エコーチェンバー』教室を使って反響音を作り出す 楠元…『ビートメイク』身近な音を加工、編集してビートを作ってみる 波多腰…『テープレコーダー』オープンリールの操作、録音、再生を体験☑ 高橋…『タテ動画+アフレコ』動画撮影してアフレコ 溝淵…『ライブハウス∞体験』音響、照明、出演の体験 近藤…『吹奏楽比較試聴』コンクールの演奏を聴き、違いについて話し合う 芹沢…『Live2D制作』Live2Dを使って静止画を動かす体験						
成績評価 方法	100点を満点としレポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	総合・その他	
授業科目	企業研究				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	4	単位	—
担当教員	進路指導部		担当教員 実務経験	—			
授業概要	本学の学生が興味を持つような、音響や照明、レコーディング、マスタリング関連会社の関係者を招き、特別講義をしていただく。						
到達目標	本学学生の就職目標となる各業種の職種やその職務内容を知り、自己の適性やその職種を目指すための学習計画や心構えを構築する。						
授業計画 学習内容	・音楽コンテンツ技術制作関連企業関係者による講義 ・舞台技術制作関連企業関係者による講義 ・放送技術制作関連企業関係者による講義 ・専門機器取扱い企業やメーカー企業関係者による講義 ・企業訪問 音楽録音スタジオ 映像編集スタジオ PA技術会社 劇場／ホール 等						
成績評価 方法	—						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	総合・その他	
授業科目	ワークガイダンス				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	6	単位	－
担当教員	各担当		担当教員 実務経験	－			
授業概要	音響／映像／舞台の制作、制作技術の現場について、その仕事内容、スタッフの種類、求められる適性などを知る						
到達目標	音響／映像／舞台の制作、制作技術の現場について、その仕事内容、スタッフの種類、求められる適性などを知る						
授業計画 学習内容	1. コンサート／演劇音響 2. レコーディングエンジニア 3. 放送音声（音声収録／音響効果選曲／MA） 4. 映画音響 5. 動画撮影 6. 動画編集 7. 舞台照明／舞台装置 8. 制作／演出						
成績評価 方法	－						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	総合・その他	
授業科目	企業インターンシップ				授業方法	実習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	各担当		担当教員 実務経験	—			
授業概要	在学中の学生を一定期間、企業、団体に研修生としてお預けし、実務経験を踏ませる						
到達目標	実務経験を通じて、業界の現状を肌で知るとともに、社会人として自立するための心構えを醸成する。						
授業計画 学習内容	1.派遣先担当者との打ち合わせ 2.派遣先担当者からのブリーフィング （企業、団体の業務内容、インターン生の活動内容やルール等に関する説明） 3.指定された期間、場所での現場就業体験						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	共通科目	
授業科目	エンタテインメントコンテンツ制作各論				授業方法	講義	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	巻島英司 磨知 隆 田中有香 加島貴彦		担当教員 実務経験	担当教員の实務経験は授業計画学習内容欄の担当者名後に()内記載			
授業概要	プロフェッショナルとしてエンタテインメント業界の様々なコンテンツ制作に携わる講師による講話						
到達目標	エンタテインメント業界の様々なコンテンツに対する理解を深める						
授業計画 学習内容	●広告制作/TVコマーシャルの企画、制作までの流れ・演出手法等。 担当：巻島（広告会社クリエイティブ・ディレクター。多くの企業CMを担当。全日本CMフェスティバル等受賞歴多数。） ●ミュージックビデオ制作/ミュージックビデオ制作プロデュースとは・制作現場や運営の流れ・撮影から編集までの制作技法等。 担当：磨知（音楽番組専門局のスペースシャワーを経て、現在（株）629代表取締役社長。多くのPVやライブ映像の制作技術全般のプロデューサー及び統括を行う） ●映像音響制作の流れ /MAについて（編集、整音、収録、ミックス等）。 担当：田中（1993年よりMA(映像音響)に従事。2003年に(有)サルミックス設立。） ●映像制作 /放送・イベント・コンサートにおける新しい映像コンテンツの制作演出手法について（プロジェクションマッピング、CG等）。 担当：加島（映像プロデューサーとしてMV、TV-CM、Web動画等多くの作品を手がける。）						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	共通科目	
授業科目	演習 クリエイティブソフトウェア実技Ⅱ				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	28	単位	1
担当教員	永谷喜美雄 波多腰英靖 高橋喜郎		担当教員 実務経験	担当教員の実務経験は授業計画学習内容欄の担当者名後に()内記載			
授業概要	コンピューターを道具とする考え方、その際の留意点等の習得を図る						
到達目標	・ AdobeCCの各アプリケーションでの作業習熟 ・ ProToolsを用いた作業、特にMA作業の習熟						
授業計画 学習内容	●Adobeプレミアを用いた映像編集／ソフトウェア使用法、作品・演出意図に合わせた編集法、画質調整、テロップ・エフェクト技法等 担当：永谷（(株)東京サウンドプロダクションにて長年映像技術者として勤務。現在フリーのビデオエディター。） ●Adobeフォトショップ・イラストレーターを用いた画像編集/ソフトウェア使用法、写真加工・色調整、描画法、テキストの扱い方、画像サイズ管理等 担当：高橋（(有)D.&A.MUSICにて長年CD・DVDのデュプリケートや映像編集、プロモーションに従事。） ●ProToolsでのMA作業/音声の取込み、音声ファイル管理、整音技法等 担当：波多腰（2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級舞台機構調整技能士。）						
成績評価 方法	100点を満点とし、実技試験、作品提出、ならびに、授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科	系列	共通科目
授業科目	映像制作概論	授業方法	講義 遠隔
開講年次	2年次	開講時期	前期
		授業時数	16
		単位	1
担当教員	港郁雄	担当教員 実務経験	MAエンジニアとしてソニーPCL(株)に勤務。日本ボ ストプロダクション協会講師および映像音響処理技 術者資格認定試験問題作成委員。
授業概要	映像作品の編集から完成までの過程を映像と資料で講義		
到達目標	映像作品に関する職種や作業工程を知識として習得		
授業計画 学習内容	1.プリプロダクションとは 2.プロダクションとは 3.プロダクションの作業内容 / 演出・撮影・照明 4.プロダクションの作業内容 / 音声収録・CG,VFX合成 5.ポストプロダクションとは 6.MAとは 7.マスタリングとは 8.レポート課題作成		
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。		

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	共通科目	
授業科目	映像音響検定講座Ⅱ				授業方法	講義	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	永谷喜美雄		担当教員 実務経験	(株)東京サウンドプロダクションにて長年映像技術者として勤務。現在フリーのビデオエディター。			
授業概要	映像・音響検定試験合格を目標に、極力身近な機材の話や実際のＴＶ番組制作の過程を折り込みながら興味深く解説をしていく。						
到達目標	検定試験受検者は資格取得。試験問題演習を行い、映像音響技術者に必要な知識を身につける。						
授業計画 学習内容	・ＴＶの原理／色彩と色温度。磁気記録の原理／ＳＤＴＶとＨＤＴＶ ・ＶＴＲのフォーマットとビデオ信号の種類，デジタルビデオとアナログビデオの違い ・ビデオ編集の実際（合成などを含めて） ・ＴＶ番組，ビデオ作品の制作過程（編集を中心に）						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	専門科目	
授業科目	立体音響入門				授業方法	講義	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	26	単位	1
担当教員	中原雅考 染谷和孝		担当教員 実務経験	音響設計家として多数の音響スタジオ設計を手掛ける。(株)ソナ取締役（中原） サウンドデザイナーとして多くの映画・ゲーム作品のサラウンド音響を手掛ける。(染谷)			
授業概要	音という物理現象を学ぶための基礎を学ぶ						
到達目標	オブジェクト臨場感、フィールド臨場感を意識した 3Dシーンベースのミックスを作る						
授業計画 学習内容	01. 音とは？ 02. 音波の基本要素 03. 音場を構成している物理現象 04. 音場再現（Ambisonics） 05. 音場再現実習 1：ReaperとAmbisonicsプラグインの基礎知識 06. 音場再現実習 2：FOAエンコーディング（Ambisonics録音） 07. 音場再現実習 3：FOAデコーディング（3Dミックス）						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	専門科目	
授業科目	実習 ダビングオペレーション				授業方法	実習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	60	単位	2
担当教員	高橋喜朗		担当教員 実務経験	(有)D.&A.MUSICにて長年CD・DVDのデュプリケー トや映像編集に、プロモーション従事。			
授業概要	アニメーションのセリフ録音および効果音作成						
到達目標	収録および加工・整音・仕上げ(ミックス)作業における技術習得、出演者とのコ ミュニケーションや進行といったスタジオワークを身につける。						
授業計画 学習内容	・声優のオーディション及び準備 ・セリフ録音（出演者系専門学校の学生との学外スタジオでの収録） ・効果音録音（学内スタジオおよびライブラリー音源加工） ・MA作業（セリフと効果音のミックス）						
成績評価 方法	100点を満点とし、作品出来栄えおよび・出席点の総合評価で行い、60点以上に単 位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	専門科目	
授業科目	実習 映像音響制作				授業方法	実習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	60	単位	2
担当教員	水野博章 高橋喜郎		担当教員 実務経験	株式会社ハッチ所属。ミュージックビデオ、パッケージDVD、舞台DVD演出等のプロデュース/ディレクションを多数手がける。（水野） (有)D.&A.MUSICにて長年CD・DVDのデュプリケートや映像編集に、プロモーション従事。（高橋）			
授業概要	グループ活動でのそれぞれの役割を理解し映像制作を行う						
到達目標	企画書やシナリオをグループ内で話し合い、作品を制作する中で制作ノウハウや撮影技術全般を習得する						
授業計画 学習内容	・ 授業概要 の説明 映像制作の流れ / シナリオの基礎 / 企画書の書き方・予算・スケジュール・キャスティング・ロケ地について ・ 香盤表および撮影スケジュールの組み方 ・ 撮影/照明機材についての基礎レクチャー 各種機材の説明・取り扱いについて ・ 編集およびMA作業を行を完パケフォーマットにする						
成績評価 方法	100点を満点とし、作品出来栄えおよびレポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	専門科目	
授業科目	演習 MA				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	32	単位	2
担当教員	内村和嗣		担当教員 実務経験	元NHKの音響技術者として勤務。スタジオ シ エロフルソ。			
授業概要	「MA」という仕事を知る。 MA作業を行う際の心構えを知る。						
到達目標	活きた音を扱う気持ちを携える。						
授業計画 学習内容	・ MAとは ・ MA作業の流れ ・ MA作業で使用する音響機器 ・ MAとサウンドデザイン ・ 映像作品での音の演出 ・ 活きた音とは						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	専門科目	
授業科目	演習 プロモーション動画制作				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	48	単位	3
担当教員	高橋喜郎		担当教員 実務経験	(有)D.&A.MUSICにて長年CD・DVDのデュプリケートや映像編集、プロモーションに従事。			
授業概要	生のパフォーマンスとして成立しているソースを映像完パケとして制作することでソースを理解すること、収録時の集中力、について体験する						
到達目標	生収録現場での立ち居振る舞いを体験する。 納品物を制作する。						
授業計画 学習内容	・ 打ち合わせ (台本、絵コンテ、キャスティング等) ・ 機材プラン (使用機材リスト作成、作業プランの組み立て) ・ 収録 (撮影・録音) ・ ポストプロダクション作業 (映像編集、効果音・選挙区・MA) ・ 納品物作成						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	専門科目	
授業科目	演習 イベント実技				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	28	単位	1
担当教員	近藤 頌		担当教員 実務経験	制作や舞台などの現場を経て、バンケットの音響・照明・映像・配信・設備管理実務に従事。2級舞台機構調整技能士。			
授業概要	ステージ作品の制作、技術オペレート、発表を通じて出演者とスタッフ両方を体験する						
到達目標	音響および照明オペレートの知識を習得する						
授業計画 学習内容	・オリエンテーション ・演習のための発表作品構想 ・音響プランニングと照明プランニング ・使用楽曲の選曲、SE作成、再生メディアの用意 ・音響照明作業演習 ・学内イベントスペースでの公演発表						
成績評価 方法	100点を満点とし、作品発表・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	専門科目	
授業科目	演習 音楽レコーディング				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	20	単位	1
担当教員	楠元剛史		担当教員 実務経験	2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務。			
授業概要	メジャーレコード会社の音楽スタジオ作業を踏襲しつつ、「音楽」を題材としたスタジオ作業を体験する						
到達目標	音楽録音スタジオ業務の体験をし、作業の流れを知る。						
授業計画 学習内容	ドラムのマルチマイク・マルチトラックレコーディング ボーカルのオーバーダビング エディット ミックスダウン						
成績評価 方法	レポート、課題提出および授業への積極的参加による						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	専門科目	
授業科目	演習 機器オペレーションⅢ				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	24	単位	1
担当教員	高橋喜郎ほか		担当教員 実務経験	—			
授業概要	1年次授業の演習・実習内容と施設・機材の使用法を復習し、応用的な音響/映像/機材やPCソフトウェアの使用法をさらに学ぶ。						
到達目標	ソフトウェア等と専門機器それぞれを理解し、それらを組み合わせたシステム構築と使用法を習得する。						
授業計画 学習内容	PCソフトウェア種類説明 ・ photoshop ・ illustrator ・ ProTools ・ premiere pro ・ Media Encoder 学内スタジオ機器説明 ・ 音響ミキシングコンソール(アナログ卓・デジタル卓・タブレット/PC型) ・ 映像収録用カメラ/照明機材の種類について ・ 撮影素材のデータ変換および取込みの方法 映像作品の制作実施 ・ コンクール用ショート映像コンテンツ						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・実技試験・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	総合・その他	
授業科目	演習 音芸オリエンテーション				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	30	単位	2
担当教員	各担当		担当教員 実務経験	—			
授業概要	1・2年生合同の班編成で各コンテンツをローテーションで受講する。(コンテンツ内容及び担当教員は授業計画学習内容参照)						
到達目標	・学年、学科の枠をこえて学内で学生同士がつながりを持てるようにする ・先輩、後輩間に「教え・教えられ」の関係が生まれるきっかけの場の提供 ・多様なコンテンツを通じて音響技術、技能習得へのモチベーションを高める						
授業計画 学習内容	見上…『エコーチェンバー』教室を使って反響音を作り出す 楠元…『ビートメイク』身近な音を加工、編集してビートを作ってみる 波多腰…『テープレコーダー』オープンリールの操作、録音、再生を体験☑ 高橋…『タテ動画+アフレコ』動画撮影してアフレコ 溝淵…『ライブハウス∞体験』音響、照明、出演の体験 近藤…『吹奏楽比較試聴』コンクールの演奏を聴き、違いについて話し合う 芹沢…『Live2D制作』Live2Dを使って静止画を動かす体験						
成績評価 方法	100点を満点としレポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	総合・その他	
授業科目	ビジネス実務				授業方法	講義	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	高橋喜朗		担当教員 実務経験	—			
授業概要	就職活動や就業時のマナー、書類作成に関するスキルの向上をはかる						
到達目標	基礎的なビジネスマナーの習得						
授業計画 学習内容	・採用担当が就活生に求めるものとは ・自己分析 ・自己PRとは ・ビジネスメールのマナー ・電話対応のマナー ・模擬作文試験 ・ポートフォリオ作成						
成績評価 方法	100点を満点とし、授業への参加姿勢・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響監督・ビジュアルアート制作科				系列	総合・その他	
授業科目	ガイダンス				授業方法	講義	
開講年次	2年次	開講時期	前・後期	授業時数	16	単位	—
担当教員	高橋喜朗		担当教員 実務経験	—			
授業概要	受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する指導、情報提供						
到達目標	受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する理解を促進し、学生が安心して就学できるよう支援する						
授業計画 学習内容	1. 新学年オリエンテーション（シラバス／学則の説明など） 2. 重要度の高い新規カリキュラム開始にあたってのオリエンテーション 3. インターンシップ、アルバイト募集、就活促進等に関する説明など						
成績評価 方法	—						